

KIZUNA レポート

第92期 中間期

2021年4月1日～9月30日

つなぐを
化学する



マツタロウ



ロジーナ

荒川化学工業株式会社



株主の皆様へ

代表取締役社長

宇根 高司

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第92期中間期の業績をご報告するにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様、および感染拡大により影響を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早いご回復をお祈り申し上げます。

当社グループでは、さらなる成長のため、地球環境と社会の持続的な未来に貢献するエコシステムにしっかり入り込み、ライフサイエンス関連などの素材をも手掛け、REALとDIGITALを下支えするケミカル・パートナーへの変革を目指してまいります。さらに、水系ポリマーや水素添加技術など、コア技術・素材の強化に努めるとともに、環境に配慮した持続可能な開発にも注力し、市場環境の変化にも対応すべく事業ポートフォリオ改革を進めております。

2021年4月より第5次中期5カ年経営実行計画がスタートし、スローガンを「**V-ACTION for sustainability**」といたしました。人と事業の新陳代謝の深化、事業基盤の持続性を確保し、持続可能な地球環

境と社会を実現するための課題に取り組み、付加価値・新規事業の創出、安全文化の醸成、および働きがいと生産性の向上を目指して、グループの価値観・行動指針に基づいたKIZUNA経営を推進してまいります。すべてのステークホルダーからの期待に応え、信頼され続ける企業となれるよう、安全を最優先に品質・環境の追求、コーポレートガバナンス機能の強化、炭素循環社会の実現に貢献するためサプライチェーンを通じたサステナビリティへの取り組みを積極的におこない、皆様方とともに持続的な発展を目指してまいります。

当第2四半期連結結果計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和しつつあるものの、一部で依然として厳しい状況にあります。また、ワクチン普及に遅れがみられるASEAN諸国においては、同感染症の拡大を抑えられない状況が経済活動の足かせとなり、グローバル規模でのサプライチェーン停滞の一因となっております。一方、国内経済においては、同感染症のまん延により、依然として厳しい状況にあるなか、製造業を中心に設備投資や生産活動では持ち直しの動きが続いておりますが、世界的な資源価格上昇などの影響を注視していく必要があります。

当中間期連結結果計期間の売上高は396億67百万円（前年同期比23.1%増）、営業利益は24億75百万円（同155.3%増）、経常利益は25億71百万円（同120.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億33百万円（同143.9%増）となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用したことにより、売上高は12億13百万円減少しておりますが、営業利益および経常利益に与える影響はありません。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第5次中期5カ年経営実行計画（2021～2025年度）

V-ACTION for sustainability

- ・Vector 方向・進路（サステナビリティ）
- ・Value 価値（企業価値）
- ・Variety 変化・多様性（中計最終時の姿）
- ・Venture 冒険的事業（みつける）
- ・Vitality 活力（働きがいと生産性の向上）

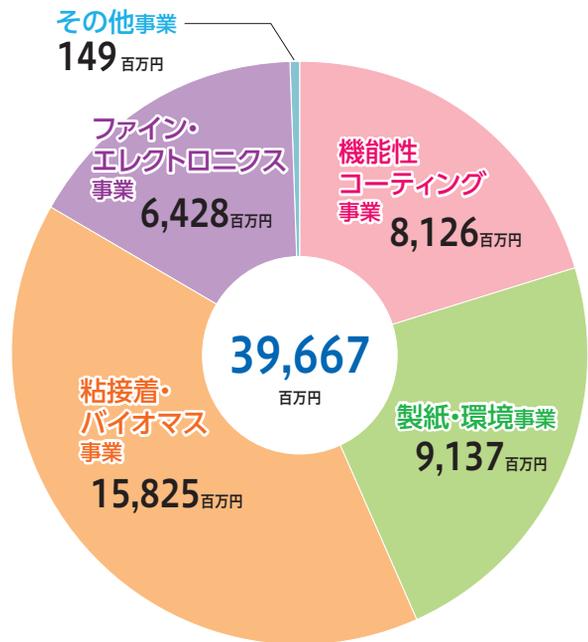
人と事業の新陳代謝の深化、事業基盤の持続性を確保し、持続可能な地球環境と社会を実現するための課題に取り組み、付加価値・新規事業の創出、安全文化の醸成、および働きがいと生産性の向上を目指す

荒川化学グループが掲げるSDGs選定目標

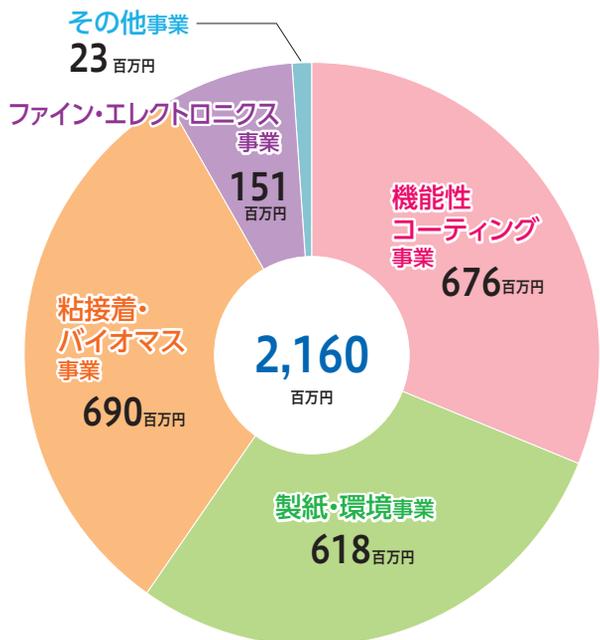


事業の概況

▶売上高



▶セグメント利益



決算ハイライト(連結)

	前中間期	当中間期
売上高	32,220 百万円	39,667 百万円
営業利益	969 百万円	2,475 百万円
経常利益	1,167 百万円	2,571 百万円
親会社株主に帰属する 四半期純利益	710 百万円	1,733 百万円

▶売上高



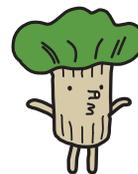
▶経常利益



▶親会社株主に帰属する当期純利益



荒川ケミカルベトナム社 ～建設進行中!～



2019年12月30日に「荒川ケミカルベトナム社」として会社を設立し、現地の社員が一丸となり、本年末の工場稼働開始に向け、建設工事の対応や業務実施に向けた研修活動等に取り組んでいます。

今年は4月末より新型コロナウイルス第4波が拡大し、厳しい制約を伴う社会隔離措置が適用され、社員が出勤できない状況が発生するなど、日々変化する状況に戸惑いながらも、それに対応できるよう取り組んでおります。このような状況ですが、本年末の工場稼働に向け、一致団結し奮闘中です。



マツタロウのふるさとづくり 大植栽会



当社は岡山県の「企業と協働の森づくり」事業の趣旨に賛同し、2016年11月より岡山県矢掛町にて「マツタロウの森づくりプロジェクト」をスタートしました。例年、年3回、大阪地区と水島工場の社員が協働して植栽活動を行っており、10年間でアカマツ1万本を植栽する予定で進めています。この2年間はコロナ禍により活動の縮小を余儀なくされておりましたが、今年11月初めには久しぶりに社員約60名で松の苗木450本を植栽しました。

開園から5年が経過し、初年度に植えたマツは背丈も人を超すほどに成長しました。開園10周年となる150周年に向けて人と松がともに成長できる森を育ててまいります。



会社概要 (2021年9月末時点)

商号	荒川化学工業株式会社
所在地	大阪府中央区平野町1丁目3番7号
代表者	取締役社長 宇根 高司
創業	明治9年(1876年)
会社設立	昭和6年1月(1931年)
資本金	33億43百万円
従業員数	1,612名(連結)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
公告方法	日本経済新聞		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先 (お問い合わせ先)	大阪府中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)		

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。